

# さくら新聞

発行者：NPO法人  
下関深坂さくら友の会  
下関市安岡町1-8-3  
TEL:083-258-0143  
FAX:083-258-5910  
http://yasuokac.sakura.ne.jp/sakura  
Eメール: misaka.sakura@arrow.ocn.ne.jp

## 嬉しかった中学生ボランティアの参加

例年なら8月は作業は休みだが、今年は、市内の名陵中学校の生徒からボランティアに参加したいという申出があった。これを聞いて喜ばないはずがない。維持管理部会は急遽8月11日に臨時作業を行うこととした。中学生3名を含む17名が参加。



作業は、深坂茶屋駐車場の崖上の斜面、臨時駐車場の奥、森林組合の下の草刈。中学生3人は崖上の斜面の草刈に参加。その後、平野

さんの引率でもみじ谷を見学。猛暑の中の作業の為、何時もより少し早めの11時に作業終了し、全員で恒例の弁当を楽しんで11時30分頃に解散。中学生寄稿の感想文は4頁に掲載しています。



深坂茶屋上の斜面で草刈り



一汗かいた後の弁当

## 第6回深坂さくらえ

4月7日

初めての荒天だ。開会式は室内で行われ、下関市長自ら出席し、祝辞がのべられた。引き続き、今年植えるオナー桜の市への贈呈式が行われた。



テラスではモチツキ季節外れの寒さと雨の中、どれだけ盛上るかが験されたが、まずはモチツキで景気を付けてくれた。



## 維新の会のプラスバンド

例年は屋外での演奏だが、今年は天候のせいでも室内で聞くことになった。力強く響いて、格段の迫力の違いを感じた。アンコールは東日本大震災復興支援ソング「花は咲く」。



## 勝山会の少年少女による平家太鼓

子ども達の真剣で勇壮なパフォーマンスに、会場は静まり返って聞き入った。盛大な拍手が聴衆の感動を物語っていた。



## 5月12日 定期総会

五月晴れの快晴の空の下、第8回総会を開いた。出席人数35名。この時期毎年、町内清掃や、ライオンズクラブの東行庵茶会などと重なるので出席が悪くなる。日差しが強く、途中から日陰に避難。事業報告、活動決算報告および、平成25年度の事業計画と活動予算の承認議決を行った。

25年度会員数、団体会員14名・個人会員110名・賛助会員165名。30分ほどで無事閉会。体操の後、定例作業を行った。この日は邪魔枝整理作業を主に行った。会計報告と活動報告は、2頁3頁に掲載。また、さくら友の会のホームページ、またホームページ山口県NPO法人データベースなどを参照ください。



## 桜四方山

今年は、平安朝以来の暑さだとか、気象予報士がまじめな顔をして言っていました。千年前に温度計があったのか？どこに、そんな記録があるのか？文書による記録ではないが、記録はあるらしい。木の年輪の幅や、氷床に含まれる大気の組成などから推定された気温ということになる。気象の世界では「中世温暖期」と呼ばれ、北極海なども今より海水が少なく、バイキングなどが活躍した時代です。現在は陸水に覆われているグリーンランドも、実際に緑の大地で、氷の下からはワイン作りの道具なども発見されている。だからグリーンランドと名付けられた？日本でも、宮中（京都）でお花見が行われた日時（サクラの満開）から、現代よりも気温が高かったのではないかとされている。兼好法師も「徒然草」で「家の造りようは夏をむねとすべし・・・」と言っている。周囲に池を廻らした神殿造りの庭園は、暑さしのぎの対策でもあったらしい。それに比べ、近代都市は夏のことが頭にないようです。（TT-DA マティダ HP から引用）